自動水栓デルマン　V-1、V-8、VF-50兼用MXサーモ混合水栓取扱説明書

自動水栓デルマンの取付、取扱説明書については別途付属の取扱説明書をご覧下さい。
ご使用上の注意を必ずお読みいただき、取付けご使用をお願い申し上げます。

既存蛇口の取外し、自動水栓の取付け

自動水栓デルマン取扱説明書の項目「**蛇口の取外し方法**」及び「**取付け方法**」を
ご覧いただき取付けてください。

施工上の注意

- 配管内の清掃‥‥‥‥‥取付け前に必ず空流し（通水）し配管内部のゴミを洗い流してください。
- 給水･給湯配管の確認･･･通常の配管は左が湯で右が水です。逆配管は使用できません。
- 飲用不可な水は使用しないでください。
- 給湯には蒸気は使用しないでください。
- ガス瞬間湯沸かし器からの配管は最短距離で施工し、保温材を巻いてください。取り付け後の保守点検のために必ず点検口を設けてください。

取付け手順

① 自動水栓の取扱説明書に従い、既存の蛇口の取外しを行ないます。水栓金具の取外しが終わった時点で湯、水の止水栓に付属のフレキを取付け、バケツなどに十分空流しを行ないます。（配管内部に残ったゴミが電磁弁に入りこむと現場では修理できません。又、保証期間内であっても有償修理になります。十分注意してください。）水栓金具を外した陶器の右穴に自動水栓のスパウトを取付けます。（自動水栓取扱説明書参照）

② 混合栓MXの中に付属されている座付きL型ソケット2個を所定の位置（図面参照）にビスで固定いたします。（タイル、コンクリートの場合付属のアンカーを使用します。尚、ドリルのビットはそれぞれ専用のものを使用してください。ドリル下穴6.4mm）

③ 座付きL型ソケットの間隔は必ず100mmから210mmの間で設置してください。座付きL型ソケットの湯側（向かって左側）と陶器の排水金具の間隔は必ず12mm以上離して下さい。

④ 壁面に取付けた2個の座付きL型ソケットにサーモ混合栓の2本のクランクを付属のシールテープを3～4周巻きつけてねじ込みます。

⑤ クランクの位置を合わせ、サーモ混合栓本体を袋ナットで固定します。

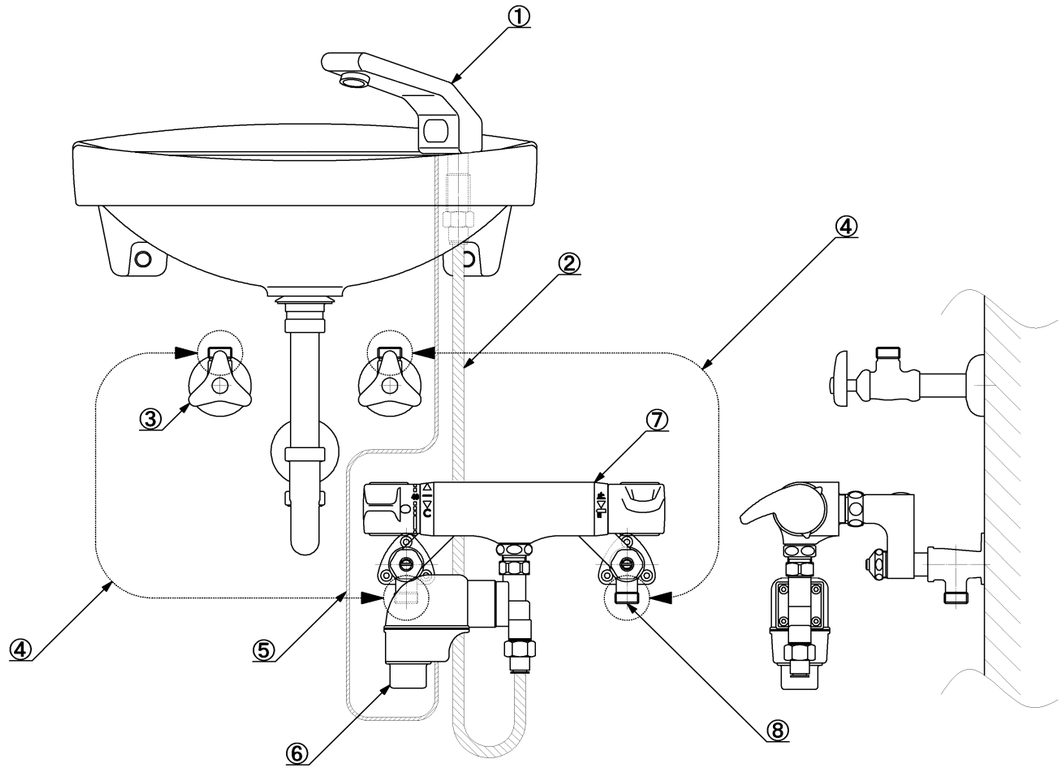
⑥ 座付きL型ソケットの下側ソケットの下側の雄ネジに付属の500mmのフレキパッキンを入れてねじ込みます。もう片側を止水栓にパッキンを入れて袋ナットで固定します。（混合栓は左がお湯、右が水となりますので止水栓への取付けも同じように①、②の番号をあわせて間違えないよう注意して行ないます。）

⑦ 混合栓本体の下にある雄ネジにパッキンを入れて自動水栓コントローラーを袋ナットで固定します。コントローラー下雄ネジにワンタッチコネクタを取付け、ウレタンチューブを差しこんで蛇口下に取付けます。

⑧ コントローラーのセンサーケーブルの防水キャップを外し、スパウトから出ているセンサーケーブルにコネクトします。（コネクターには絶対水をうけないように注意してください。電池が早く終わったり最悪の場合、基板を破損させてしまう場合があります。）

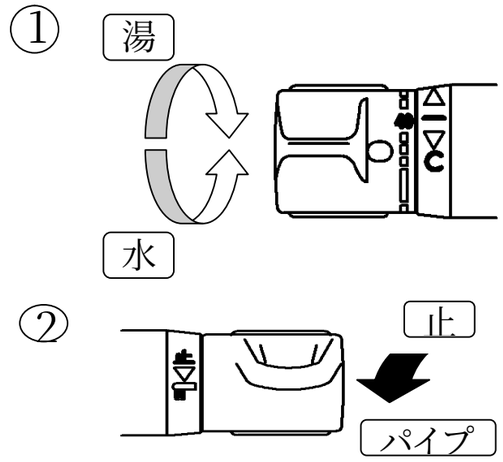
⑨ すべての接続箇所の水漏れをチェックして温度調整をしてください。

組立完成図



番号	品名	使用数
①	スパウト	1
②	ウレタンチューブ	1
③	止水栓（付属されていません）	2
④	付属ステンレスフレキ接続	2
⑤	防水ケーブル	1
⑥	コントローラー	1
⑦	混合栓（MXサーモ）	1
⑧	座付きL型ソケット	2

使用方法



①【温度調整】
温調ハンドル「40」の文字は吐水温度を示しています。これを目安としてハンドル目盛りを表示ポイント（HとCの間の線）に合わせて希望温度に調整します。調整ハンドルはH側へ回すと高温に、C側に回すと低温になります。
約42℃以上で使用する際は、安全ボタンを押して湯側へ回してください。

注意1　温調ハンドルは無理な力を加えないように、ゆっくりと操作してください。
注意2　本体の左側は給湯器からの熱湯が入り込み高温になりますので、やけどに注意してください。

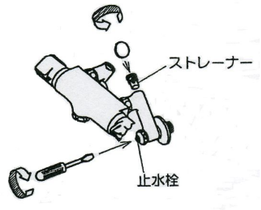
②【吐水と止水】
切換えハンドルを下に回すと吐水します。
「止」の文字は止水位置を示しています。
切換えハンドルを凸部と表示を合わせるように操作してください。

注意1　吐水切替ハンドルはゆっくりと操作してください。急な操作によりウォーターハンマー（衝撃音）が発生する事があります。
注意2　手で湯温を確かめてからご使用ください。
注意3　高温での使用後は熱湯が残っている場合がありますので、間がなく使用するときはしばらく吐水させてください。

ストレーナーの清掃

ストレーナーが詰まると吐水量が少なくなったり、温度調整がうまくいかなくなるなど十分な機能を発揮しなくなりますので、時々次の要領でストレーナーを掃除してください。

① 湯側、水側の止水栓をマイナスドライバーで右に回して給水、給湯を止め、切換ハンドルを開いて圧力を抜きます。
② 硬貨または大型ドライバー等でナットを左に回しストレーナーを取外し、ブラシ等で軽く洗ってください。



お手入れの仕方

● **メッキ部分（金属製品部）**
柔らかい布で拭き、時にはミシン油やカーワックスを適量にしみこませた布で拭いてください。
● **樹脂部分**
柔らかい布で水拭きをしてください。

⚠ 注意

次のものは使用しないでください。変色や傷みのおそれがあります。
●酸性・アルカリ性および塩素系の線材類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
●ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
●クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
●ナイロンたわし等

※保証書は自動水栓デルマンセット品となるため、自動水栓デルマンとの一括保証となります。

株式会社　バイタル

〒385-0034　長野県佐久市平賀4888
TEL　0267-62-4537
FAX　0267-62-4626
お客様相談窓口　0120-39-4626
e-mail　info@vaital.co.jp
http://vaital.co.jp